

令和5年度

# 適性検査 C

注 意

- 1 問題は [1] から [3] までで、6ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分間です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **性別・受検番号**は解答用紙の決められた欄<sup>らん</sup>3か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立大宮国際中等教育学校

太郎さんは、総合的な学習の時間で「起業」をテーマに発表をすることになり、その準備に取り組んでいます。

以下の会話を読んで、問いに答えなさい。

先生：太郎さんは、何について発表するつもりですか。

太郎さん：わたしは、日本での起業活動について調べ、発表してみようと思っています。

先生：太郎さんは、新しく自分の会社を立ち上げることに興味があり、「起業」について調べたいということですね。

太郎さん：そうです。発表に向けて調べていくと、実は、日本の起業活動は、世界の国と比べてときに、あまり活発ではないことがわかりました。資料1を見てください。これは、\*G7先進7か国の総合起業活動指数をグラフ化したものです。総合起業活動指数とは、各国の起業活動の活発さをあらわす数値で、起業したいと考えている人や起業して間もない人が、成人人口に占める割合のことです。これを見ると、日本より数値の高い国が多いです。

先生：よく調べていますね。

太郎さん：次に、資料2は、起業している人と起業していない人の仕事や生活に関する満足度についての調査結果です。それぞれのグラフを見ると、すべてのグラフで、起業している人のほうが、満足している割合が高いです。ただ、起業するにしても、しっかり準備をしないと成功しないと思っています。

先生：そのとおりですね。そのために、起業に関心をもっている人向けの勉強会をさまざまな所で開きしているようです。ある市では、専門家を招いて話を聞いたり、ビジネスゲームで起業体験ができる取り組みをしたり、SNSを使った宣伝方法を教えたりするなど、勉強会の内容の工夫をしているそうです。

太郎さん：それは興味深いですね。では、最後に資料3を見てください。これは、「起業に関心をもっている人たちが起業する際にあったらよいと思う支援策」を表したグラフです。資料3のような支援が充実すれば、日本で起業したいと考える人や実際に起業する人が増えるのではないのでしょうか。

先生：なるほど。実は、日本にも中学生や高校生で起業し、成功している人がいるのですよ。すごい行動力ですね。さいたま市でも、子ども向けに起業家教育を行っています。

太郎さん：わたしも、もっと起業について勉強したいです。わたしと同じように多くの人に関心をもってもらいたいので、起業についての勉強会を開くことの発表をしてみます。

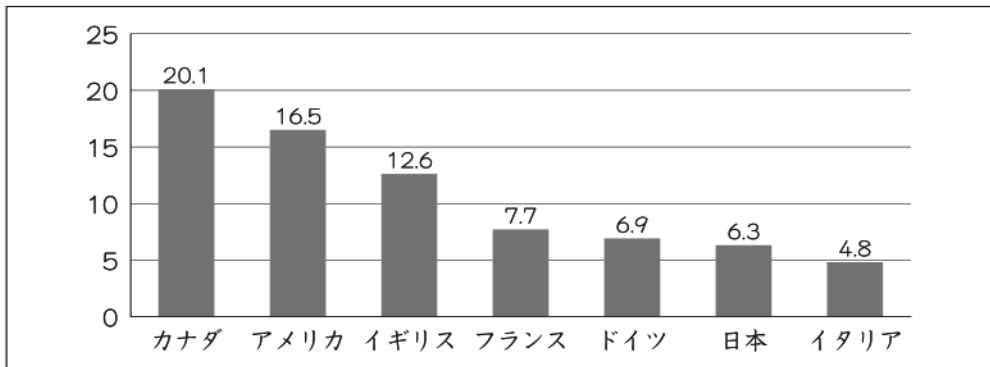
先生：それはよいですね。それでは、資料1から資料3を使って、どのような発表をする予定ですか。

太郎さん：まず、資料1から、総合起業活動指数が最も高い国とその国の数値を示します。そして、その国の数値は日本の数値の約何倍か、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数で述べます。次に、資料2の3つのグラフから、「かなり満足」と「やや満足」を合わせた割合で、起業している人と起業していない人との割合の差を比べたとき、最も差が大きいグラフはどれか述べます。最後に、起業について学ぶために、どのような勉強会が必要か、資料3の上位3項目の中から1つ選んで示します。そして、その選んだ項目の勉強会で、どのような内容の工夫をしたらよいか具体的に述べ、より充実した勉強会にするための提案を発表します。

先生：素晴らしい発表になることを楽しみにしています。

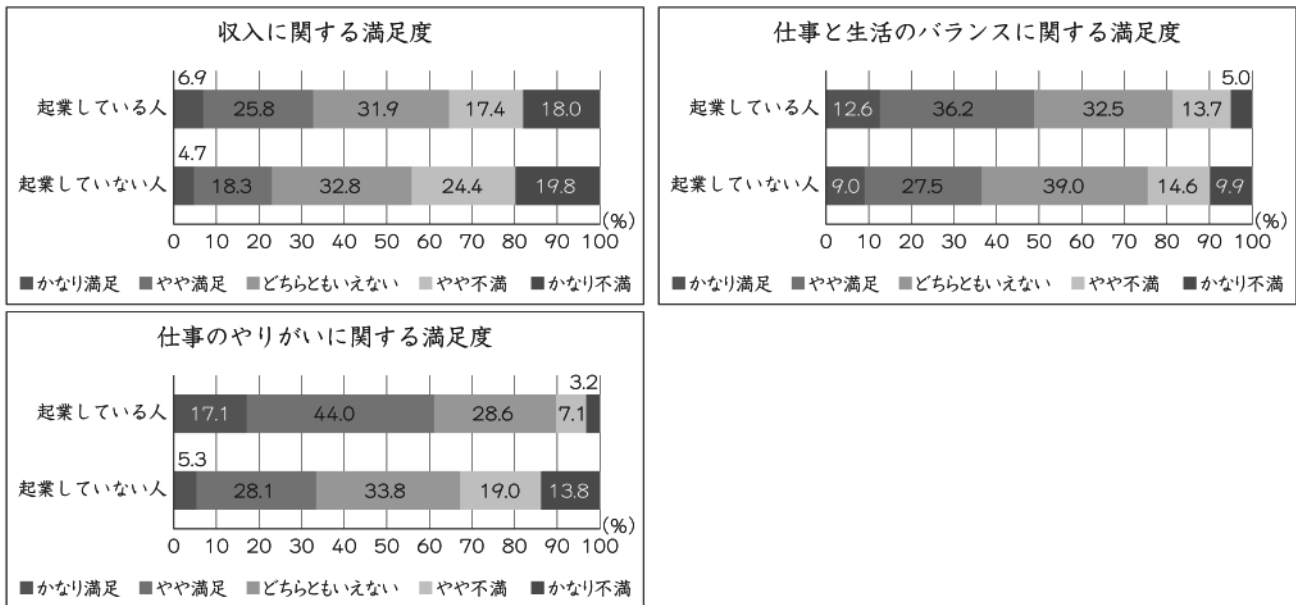
※ G7……フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7か国及びヨーロッパ連合（EU）が参加する枠組み。

資料1 総合起業活動指数



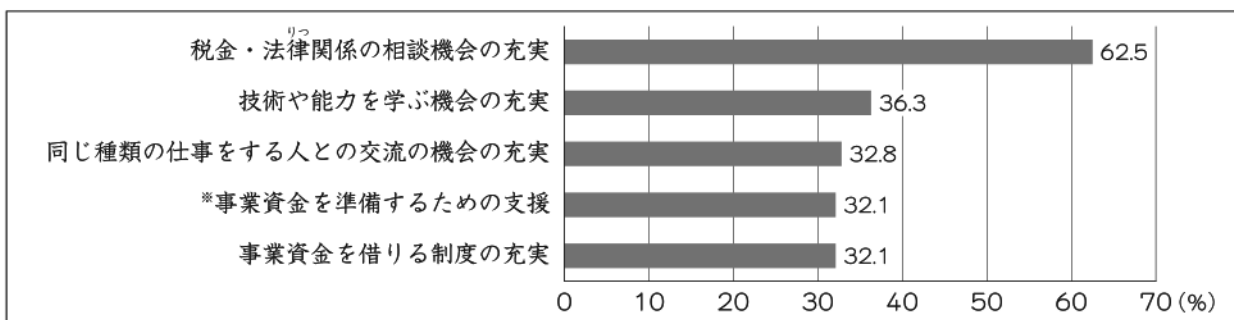
(経済産業省「起業家精神に関する調査報告書(令和3年度)」をもとに作成)

資料2 満足度について



(日本政策金融公庫総合研究所「2021年度起業と起業意識に関する調査」をもとに作成)

資料3 起業に関心をもっている人たちが起業する際にあったらよいと思う支援策(複数回答)



(日本政策金融公庫総合研究所「2021年度起業と起業意識に関する調査」をもとに作成)

※ 事業……会社が利益を得ることを目的として行う仕事。

問 あなたが太郎さんなら、どのように発表しますか。次の条件に従って発表原稿を作りなさい。

条件1: 解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2: 文章の分量は、300字以内とすること。

条件3: 数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例) 

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

花子さんは、総合的な学習の時間で「公民館」をテーマに発表することになり、その準備をしています。

以下の会話文を読んで、問いに答えなさい。

太郎さん：花子さん、発表の準備は進んでいますか。

花子さん：はい。わたしは、さいたま市の公民館が地域の中心となって、さまざまな取り組みをしていることを知りました。そこで、さいたま市の公民館の今後の役割について調べ、発表しようと思います。まず、資料1を見てください。これは、2021年につくられた「さいたま市公民館ビジョン」の一部です。これを見ると、公民館にはどのような役割があるか見えてきます。

太郎さん：そうですね。

花子さん：次に、資料2を見てください。これは、さいたま市の公民館の延べ利用者数をまとめたもので、延べ利用者数の推移がわかります。

太郎さん：3年おきの資料ですが、2009年度から延べ利用者数が減少していることがわかりますね。

花子さん：そして、資料3を見てください。これは、よく利用するさいたま市の公共施設についてのアンケート調査の結果をもとに、公民館の利用者の割合を各年代・性別ごとにまとめたものです。例えば、2012年における30代男性では、30代の男性の4.5%の人が公民館を利用しているということです。

太郎さん：これを見てみると、2018年の利用者の割合が2012年の利用者の割合より減少している年代がありそうですね。

花子さん：なるほど。わたしの地域の公民館では、「公民館まつり」を開きいすることになったそうです。公民館が「公民館まつり」で行うイベントを募集しているそうなので、わたしは、資料1の「さいたま市公民館ビジョン」の内容をふまえたイベントを提案したいと考えています。

太郎さん：それはすばらしいですね。では、花子さんはどのように発表を行う予定なのですか。

花子さん：最初に、資料1の「さいたま市公民館ビジョン」を見て、公民館が目指す方向性を述べます。次に、資料2から、2018年度の公民館の延べ利用者数は、2009年度に比べて約何%減少したのか、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで求めて述べます。そして、資料3から、公民館の各年代・性別ごとの利用者の割合の変化について、2018年の利用者の割合が2012年の利用者の割合より男女で共通して減った年代をすべて示し、その年代の男女がそれぞれ何ポイント減少しているかも述べます。最後に、それに関連して先ほど示した年代から1つの年代を選び、「公民館まつり」の中で行うイベントとして、その年代の人がたくさん来るようなイベントについての具体的な提案を発表します。

太郎さん：発表を楽しみにしています。

## 資料1 さいたま市公民館ビジョンの一部

### 第3章 公民館が目指すもの

- 1 公民館の宣言 「地域の未来をあなたと」
- 2 公民館が目指す方向性 「にぎわいから学びをつかみ地域とのつながりをはぐくむ場」

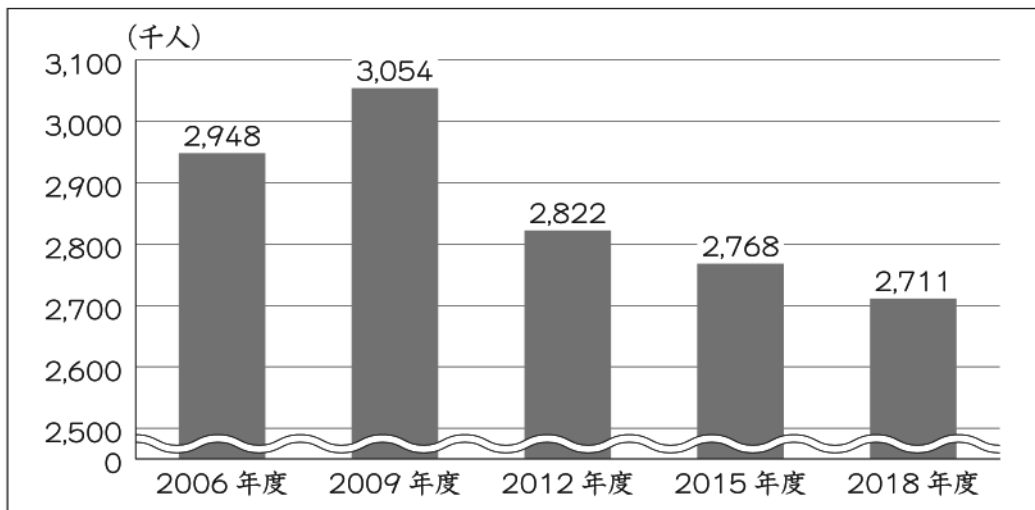
### 第4章 ビジョンを実現するために

「さいたま地域づくりプロジェクト」が目指す3つの行動目標

- 1 人々の学びのきっかけをつくり、魅力あふれる様々な学びの場となります。（人づくり）
- 2 だれもが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。（つながりづくり）
- 3 地域を共につくり、暮らしを助け、地域課題を解決する拠点となります。（地域づくり）

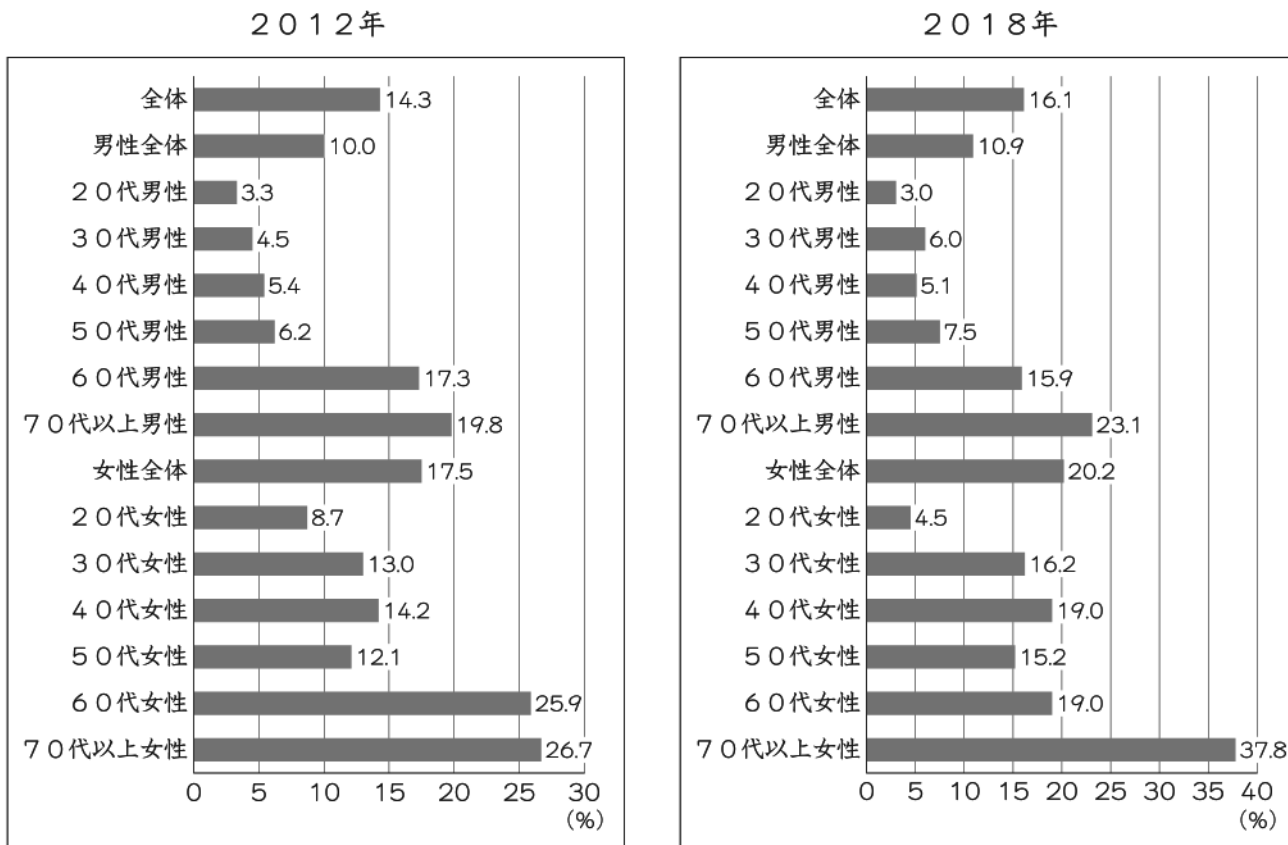
（さいたま市教育委員会「さいたま市公民館ビジョン（令和3年）」をもとに作成）

資料2 さいたま市の公民館の延べ利用者数の推移



(さいたま市「さいたま市統計書 (平成18年度、平成21年度、平成24年度、平成27年度、平成30年度)」をもとに作成)

資料3 各年代・性別におけるさいたま市の公民館の利用者の割合



(さいたま市教育委員会「さいたま市生涯学習市民意識調査報告書 (平成25年)」をもとに作成)

(さいたま市教育委員会「さいたま市生涯学習市民意識調査報告書 (平成30年)」をもとに作成)

問 あなたが花子さんなら、どのように発表しますか。次の条件に従って発表原稿を作りなさい。

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は、300字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例) 

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

図書委員の花子さんは、読書週間の図書朝会で、みんなに読書に興味をもってもらうため、発表する準備をしています。

以下の会話文を読んで、問いに答えなさい。

花子さん：図書委員として、みんなが本を読みたくなるような発表を考えています。今回は、読書習慣と読解力について、お話ししようと思います。

先生：それはよいですね。2018年に行われたOECDのPISA(生徒の学習到達度調査)がヒントになりますよ。OECDとは、経済協力開発機構という、ヨーロッパの国々、アメリカ、日本などを含む約40か国が加盟している、世界的問題に協力して取り組む国際機関です。PISAは、加盟国の教育を比べるため、15歳の生徒が、それまでに身につけてきた知識や技能を、実生活のさまざまな場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測るテストです。PISAでは、読書活動と読解力の関係についても調査しています。

花子さん：そうですか。

先生：PISAでいう読解力とは、文章の中から情報を探し出したり、文章を理解したり、文章について評価したり、よく考えたりすることのようです。

花子さん：そうなのですね。日本の生徒の読解力は、どれくらいですか。

先生：日本の生徒の読解力の得点は、世界平均に比べて高いです。

花子さん：なぜ、日本の生徒の読解力の得点が高いのでしょうか。

先生：ここにヒントになりそうな資料があります。資料1は、読書活動と読解力の関係についての日本を含むOECD全体の傾向です。そこには、読解力の得点の高い生徒の特徴が書いてあります。ちなみに、ここでいう肯定的とは、読書に対して前向きにとらえているという意味です。それに対して、読書に対して前向きではない、つまり、後ろ向きにとらえているという意味の場合は、否定的といえます。資料2は、読書活動における日本の特徴が書いてあります。資料3は、読書への関わりに関する調査結果ですが、注意して読み取る必要があります。読書に対して、2つの肯定的な質問と3つの否定的な質問があります。つまり、数値が高いからといって、必ずしも読書に前向きであるとは限らないようです。

花子さん：では、否定的な質問の場合には、数値が低いほど、読書に対して前向きということですね。

先生：そうです。

花子さん：ありがとうございます。資料3をよく見ると、日本とOECD平均の結果を比べたときに、すべての質問で同じ傾向を読み取ることができそうです。

先生：おもしろいことに気がつきましたね。資料4は、読む本の種類と頻度の関係です。花子さん、自分の発表の内容を決められそうですか。

花子さん：はい。最初に、資料1をもとに、読解力の得点の高い生徒の特徴を述べます。次に、資料2から、「どうしても読まなければならない時しか、読まない」という質問に「まったくその通りだ」または「その通りだ」と回答した生徒の割合は、日本はOECD平均と比べて何ポイント低いのかを数値とともに述べます。さらに、その結果から、日本はOECD平均と比べ、読書に対して肯定的であるか、または否定的であるかを述べます。また、資料3の5つの項目において、日本がOECD平均の結果と比べ、読書に肯定的な結果が出ている質問の数を述べます。最後に、資料4のうち、日本の数値がOECD平均を下回っている読む本の種類を1つ示し、みんなにそれを積極的に読んでみようよとよびかけるつもりです。

先生：すばらしい発表になりそうですね。

※ 頻度……くり返される度合い、回数。

### 資料1 読書活動と読解力の関係

日本を含むOECD全体の傾向

○本の種類にかかわらず、本を読む頻度は、2009年と比較して減少傾向にある。

・「月に数回」または「週に数回」読むと回答した生徒の割合

(例)「新聞」 日本21.5%、OECD平均25.4%

「雑誌」 日本30.8%、OECD平均18.5%

○読書を肯定的にとらえる生徒や本を読む頻度が高い生徒の方が、読解力の得点が高い。

### 資料2 読書活動における日本の特徴

○OECD平均と比較すると、日本は、読書を肯定的にとらえる生徒の割合が多い傾向にある。

「まったくその通りだ」または「その通りだ」と回答した生徒の割合

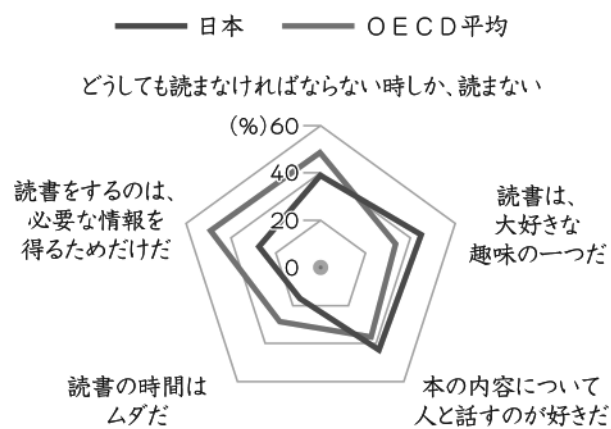
(例)「読書は、大好きな趣味の一つ」 日本45.2%、OECD平均33.7%

「どうしても読まなければならない時しか、読まない」

日本39.3%、OECD平均49.1%

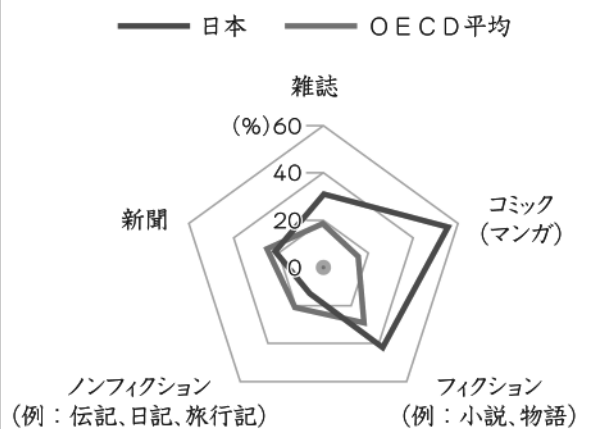
### 資料3 「読書への関わり」に関する調査結果

【読書への関わり】 ※「まったくその通りだ」または「その通りだ」と回答した生徒の割合(複数回答)



### 資料4 「読む本の種類・頻度」に関する調査結果

【読む本の種類・頻度】 ※「月に数回」または「週に数回」と回答した生徒の割合(複数回答)



(資料1～4 国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査(PISA 2018)」をもとに作成)

問 あなたが花子さんなら、どのように発表しますか。次の条件に従って発表原稿を作りなさい。

条件1: 解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2: 文章の分量は、300字以内とすること。

条件3: 数字や小数点、記号についても1字と数えること。

(例) 

4	2	.	5	%
---	---	---	---	---

これで、問題は終わりです。